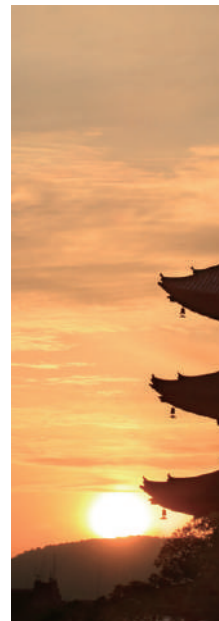
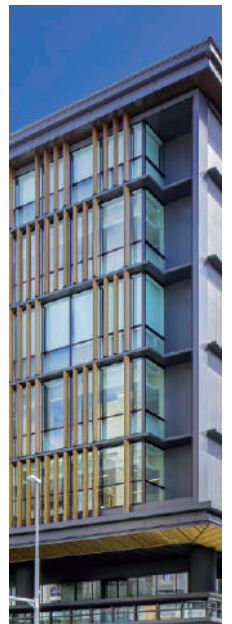


特集  
1

# 新春ごあいさつ



会頭  
株式会社ワコールホールディングス 名誉会長  
塚本 能交



# 新たな時代に今こそ自己変革を

あけましておめでとうございます。

社会経済活動の正常化に向け、新型コロナウイルスと共生する社会への転換が進みつつあります。コロナ禍が続く中、地域社会や経済、雇用を支えてこられた京都企業の皆様のご尽力に、心より敬意を表します。また、医療従事者をはじめ、感染拡大防止に取り組む多くの皆様への献身的なご努力に深く感謝申し上げます。

さて、国際社会経済の不確実性が高まり、中小企業を取り巻く環境は予断を許さない状況が続いています。このような中で事業を成長させるには、自社の強みを高めつつ、新しいビジネスへ果敢に挑戦するなど、「自己変革」を推し進めることが必要です。コロナ禍により、企業や商品・サービスの社会的・文化的な価値を重視する、消費者の意識の変化が鮮明になってきました。環境や文化、ダイバーシティなどに対する姿勢が消費行動と密接になる中、社会課題の解決を自社のビジネスの延長線上に据えることが重要になってきます。

あわせて、デジタル技術の進化やSDGs等のより良い社会を追求する考え方をとり入れ、企業の事業基盤をアップデートできる人材が不可欠となります。本所においても、人を企業価値を高める財産と捉え、次世代の「人財」育成の取り組みを始めました。京都の企業

同士が学び合う創造的な人財育成を進めたいと考えています。

さらには地域の企業が協力し、さらに良い経営環境を構築することも重要です。海外からの観光や学術、ビジネスの往来が戻ってきた今こそ、京都に消費や投資を呼び込み、地域経済の活性化につなげなければなりません。そのためのポイントの一つが「文化」の視点だと考えています。目前に迫る文化庁の本格移転を機に、一度、京都独自の文化や、風情を味わう感性を見つめ直し、再発見することにより、文化を活かした顧客創造の動きが拡がることを期待しております。

また、「2025年大阪・関西万博」の効果を京都に取り込むための準備も必要です。万博への協力を通じて、京都のブランド力の向上はもとより、次世代の産業基盤や関係人口の拡大といった、「レガシー」が京都に残るよう、オール京都で取り組んでまいります。

本所では今年を、「しなやかにともにいきる」をテーマに、持続的な京都経済の創造に向けて、次の成長軌道を描く一年にしたいと考えております。皆様の一層のご支援とご協力を心からお願ひ申し上げます。新年のあいさつとさせていただきます。



副会頭  
株式会社堀場製作所 代表取締役会長兼グループCEO  
**堀場 厚**

## 新しい世界を逞しく切り開いて行く

謹んで新春のお慶びを申し上げます。

世界はポストコロナ時代の到来に向けて、いち早く次なるステージへ進もうとしています。日本は残念ながら足踏みをしている状況が長く続き、このままでは先進各国に取り残されてしまうことを危惧しています。

しかし、私たちが生きる京都には、古来、数多くの危機を乗り越えてきた歴史があります。そのスピリットを活かしながら、京都の強みである各業界の垣根を越えた団結力や、学生の街・京都の財産であるアカデミアと力を合わせて、変革期を迎えた世界を逞しく切り開いていきましょう。

京都商工会議所の皆様と共に明るい未来があることを信じて、歩みを進めることを誓い、併せて皆様のご多幸とご繁栄を祈念して私の新年のごあいさつとさせていただきます。



副会頭  
京セラ株式会社 代表取締役会長  
**山口 悟郎**

## バトンを受け継ぎ、次の時代を切り拓く

謹んで新春のお慶びを申し上げます。

昨年は継続する新型コロナウイルスの脅威に加え、ロシアによるウクライナ侵攻により、世界経済の分断が深まり、事業環境の不確実性が高まる一年でした。このような激動の時代こそ、目の前の変化に惑わされることなく、変わることにない本質を見極めることが大切です。

悠久の歴史を紡いできた京都は、過去にも戦乱や疫病、飢饉といった幾多の危機に遭遇してきました。そうした逆境を乗り越え、ピンチをチャンスに変えていく知恵を先人は私たちに遺してくれています。

同様に、それぞれの企業には、創業者や諸先輩が育んでくれた良き文化や、時代を超えて通用する貴重な教えがあるはず。そうした幾多の危機を乗り越えてきた強靱な精神を受け継ぎ、さらに次の世代へとバトンを渡していくことが私たちに課せられた使命だと思えます。

本年も京都経済が輝きを放つ一年となるよう、微力ながら副会頭として尽力してまいりますので、皆様の一層のご理解とご協力をお願い申し上げます。



副会頭  
株式会社村田製作所 代表取締役会長  
**村田 恒夫**

## ビジネス環境の変化への対応を

謹んで新春のお慶びを申し上げます。

昨年はコロナ禍の終息に期待を寄せていましたが、感染拡大の波が三回到来したことに加え、ウクライナ情勢や世界的な物価の上昇、急激な円安等により、企業経営にとって厳しい一年でありました。その一方で、生活様式やサプライチェーンなどが大きく変化し、これらの急激なビジネス環境の変化への対応が喫緊の経営課題になりました。多くの企業がビジネスモデルや働き方、見直しに迫られ、これまでに業務変革が進まなかった業界や職種において、DX活用等による新たな取り組みが進行しています。

「VIVID KYOTO」の三本柱の一つである「新時代に対応した経営力の向上」の実現に向け、会員の皆様の連携のさらなる強化によって新たなビジネスを創出する一年となることを願い、新年のごあいさついたします。



副会頭  
株式会社京都銀行 代表取締役頭取  
**土井 伸宏**

## 力強く跳躍する一年に

謹んで新春のお慶びを申し上げます。

昨年は、新型コロナウイルス感染症に加えて、地政学リスクや経済安全保障への意識が急速に高まる一年となりました。エネルギー資源や資材・部品などの調達困難は、サプライチェーンの途絶となつて企業に打撃を与え、今後の経営戦略・事業継続計画の再考を迫られるリスクも排除できません。

一方で、こうしたリスクへの予見力を高め、平時の生産性向上にとどまらず、有事の代替性確保とともに新技術の創造・管理に取り組むことは、持続可能な成長への道を歩むことに通じます。

コロナ禍の傷が癒えぬ状態にありますが、決して下を向くことなく、目線を上げて、企業としての夢、また見ぬ高みに向かって、京都企業が力強く跳躍する一年にしたいと願っています。

引き続き副会頭として尽力してまいりますので、皆様方のご理解とご協力をよろしくお願ひ申し上げます。



副会頭  
株式会社トーセ代表取締役会長兼CEO  
齋藤 茂

### ライフスタイルの変化

謹んで新春のお慶びを申し上げます。

新型コロナウイルスは当初思っていたよりも、我々のライフスタイルに永く深く影響を及ぼすことになりました。しかもまだ終わっているわけではなく、精神面、身体面において多くの後遺症を残しました。それは必要以上にマスクをつけることであったり、子どもの頃にかかっておいた方が良い病気にかからなかったことであつたり、仕事がテレワーク主体に変わったことなど、これらは急に元に戻ることは難しいでしょう。

しかし、当初は無理だと思っていたテレワークも、システムや会社の体制の進化のおかげで成果が出始めました。当社の東京オフィスは70%がテレワークで、業務効率も問題ないため、オフィス面積を縮小し家賃を低減できるようになりました。

人の力ではどうすることもできない事象は、受け入れてうまく乗り切る術を考えることが大切です。今後とも会員企業の皆様と乗り切っていくよう、副会頭として尽力してまいります。



副会頭  
学校法人 大和学園 理事長  
田中 誠二

### 「人財力」こそ、生命力

謹んで新春のお慶びを申し上げます。

昨秋以降、水際対策の緩和や全国旅行支援の実施により、国内外から多くの方々が入浴され、京都観光や社会経済活動がいよいよ本格的に再開し始めました。京都には世界から仰ぎ見られる多彩な価値が存在します。悠久の歴史で培われた豊かな文化、学術、藝術、そして自然を大切にしながら、花鳥風月を愛でる繊細な感性で、先人たちは伝統を守り革新を繰り返してきました。

コロナ禍、物価高騰、気候変動へのレジリエンス、加速する少子化、AIやICT等技術革新など、激動する時代の中、京都の持続可能な発展を可能にするためには、誰もが生涯を通じて学び、自己を磨き高め、進取の気性をもって活躍できるしなやかで多様性に富んだ社会や企業の仕組みを創ることが必要です。

今年、京都の多様な魅力の源泉である人財力を向上させることで、「京都観光および中小企業振興に取り組み」と同時に、「愛着、夢、ときめき、おもてなし」に溢れた京都の価値と都市格を高め、世界に発信してまいります。



副会頭  
オムロン株式会社 取締役会長  
立石 文雄

### 新たなステージを目指して

謹んで新春のお慶びを申し上げます。

近年、世界は年を追うごとに、より不透明で混沌とした状況になっていると感じています。コロナ禍に加え、ロシアによるウクライナ侵攻など想定外の出来事に次々と見舞われさらなる不透明さを増していく中で、京商の新たなステージである150周年に向けた次の10年、新体制が始まった「VIDKYOTOセカンドステージ」に向けて、私たちは次の新たな一歩を踏み出していかねばなりません。

この変化の激しい時代を生き残るには、未来を見据えた人財創りと、多様性を重視する京都企業が持つ個々の強みを掛け合わせて、新たな価値を創り出すことが必要不可欠です。さらには今春の文化庁移転による京都ブランド力の飛躍的な向上も追い風として、皆様の「志」と「知恵」を結集し、大きく進化した京都を創っていきましょう。

本年もどうぞよろしくお願いいたします。

## 小売商業部会



部会長  
株式会社大垣書店 代表取締役会長

大垣 守弘

今回、小売商業部会部会長を拝命いたしました大垣守弘でございます。川勝直前部会長に育てていただいた部会をさらに意義あるものにし、部会員様のために何ができるかを考え、「京都」に貢献できますよう常に試行錯誤しながら全力で取り組んでまいります。

## 卸売商業部会



部会長  
京都青果合同株式会社 代表取締役社長兼グループCEO

内田 隆

卸売商業部会には、多種多様な業種の会員がおられ、各々の業種でさまざまな情報を持っておられます。変化への素早い対応が求められる時代、この部会員間のネットワークを活用し、情報を共有する交流の場を作るなど「VIVID KYOTOセカンドステージ」を意識した部会活動の活性化に努めてまいります。

## 繊維・染織部会



部会長  
久保商事株式会社 代表取締役社長

久保 善昭

新型コロナウイルスの影響や物価高等、私達を取り巻く環境はまだまだ厳しいものがありますが、明るい未来が来ることを信じ、人々に夢を与えると同時に伝統文化を受け継いでいるという自覚を持って、部会員の皆様と力を合わせ業界発展のために活動して行きたいと思っております。

## 電機・機械金属部会



部会長  
株式会社SCREENホールディングス 代表取締役 取締役会長

垣内 永次

世界的景気懸念や地政学的緊迫に加えて、原材料コストの高騰、サプライチェーンの再構築など、経営課題が山積です。世界を相手に事業展開されている当部会の皆さんと共に、コロナ禍からの脱却が遅れた我が国経済を復興させましょう。

## 建設産業部会



部会長  
株式会社ミラノ工務店 代表取締役社長

小崎 学

近年、豪雨や台風、地震等による大規模な自然災害が各地で激甚化しています。今後も府民・市民の安全・安心を確保する地域の守り手として、社会的使命を果たすと共に、20年、30年先の京都の将来構想にも積極的に取り組んでまいります。

## 食品・名産部会



部会長  
株式会社依屋吉富 代表取締役社長

石原 義清

新年度を迎え、京都の「食」と「名産」を担う私たちの部会は、伝統を踏まえながらも常に新しい発見や時代に順応したさらなる資質の向上を目指したネクストステージを進めていく事業を行ってまいりたいと考えています。今年度もよろしくお願いたします。

## 化学部会



部会長  
日本新薬株式会社 代表取締役会長  
**前川 重信**

新型コロナウイルスとの共存が現実味を帯びています。この環境の下、変革やチャレンジする意識を大切にするとともに、部会員同士のコミュニケーションから自由な発想や夢につながるような部会活動にまいります。

## 生活産業製造部会



部会長  
NISSHA株式会社 代表取締役社長兼最高経営責任者  
**鈴木 順也**

過去から蓄積された資産に安住することなく、新規性や多様性に寛容な風土のもと、新たなビジネスや文化産業クラスターを創出し、グローバルかつサステナブルな京都を築いていきます。

## 観光・運輸部会



部会長  
京都駅ビル開発株式会社 相談役  
**福山 隆夫**

昨今、観光客の激増そしてコロナ禍による激減、回復という稀にみる環境に採まれてきました。今後、文化庁の京都移転や万博という新しい動きも出てきます。そういった環境を踏まえ、部会員の皆様のお役に立つ部会活動を本年も役員・議員一同、しっかり進めてまいります。

## 金融部会



部会長  
京都中央信用金庫 理事長  
**白波瀬 誠**

近年、デジタルマネーの浸透により、貨幣の流通形態は大きく様変わりしております。「金融」の役割も新たなステージへの広がり求められる中、いつの時代も地域経済を支え続けるという変わらぬ思いを胸に、これからも社会への責任を全うしてまいります。

## 文化・情報部会



部会長  
株式会社淡交社 代表取締役会長  
**納屋 嘉人**

本年、いよいよ文化庁が移転してきます。今まで以上に京都が注目を集めることとなります。これを機に京都の伝統を広く知ってもらえるよう、部会一丸となり、積極的な文化の発信に取り組んでまいります。

## サービス産業部会



部会長  
ワタキユーセイモア株式会社 取締役会長  
**安道 光二**

部会員の皆様の業種・業態が多岐にわたる私たちサービス産業部会では、昨年に引き続き本年も、部会員の皆様にタイムリーで有用な情報の提供と、部会員同士の交流の場づくりに取り組んでまいります。